

柄を印刷したパーティションを紹介する横井通人部長=各務原市那加桜町、市産業文化センター



# 店の色透ける パーティション

オリジナルデザインやメニュー印刷

## 飲食店向け 各務原市の企業が製作

パーティションは従来のアクリル板ではなく、表面にひびが入りにくく、長期的に使用してもらえるようにと強度のあるポリカーボネート板を使用している。

これまでも模様や柄をあしらつたパーティションの要望があり、可能なUVプリンターを導入したことで直接印刷することができるようになり、今回の製作につながった。

現在は飲食店を中心に注文があるといい、人気商品や花柄など要望に応じたデザインで印刷している。現在使用しているパーティションにデザインだけを印刷するとも可能で、製品部の横井通人部長は「飲食店はもちろん、窓口業務やオフィスなどでも使ってもらえば」と話した。

看板や広告のデザイン、制作などを手掛けるデザインラボ(各務原市川島小網町)は、新型コロナウイルス感染対策としてほとんどの飲食店が設置しているパーティションで独自性を出してもらおうと、お薦めメニューなどを印刷したオリジナルパーティションの製作を始めた。(村井樹)